

2017. 9. 5  
蔵前工業会午餐会講話 於 中央電気倶楽部  
如水会 安西正嗣 (昭38商)

## 返還後20周年を迎えて、香港を知る

### 1. はじめに (自己紹介)

- ① 香港駐在期間 8年 (1990年～1998年)、永久居民  
香港の中国への返還 (1997年に香港特別行政区となる) の  
生き証人  
2017年7月1日は香港返還20周年記念日
- ② 銀行の証券子会社社長
- ③ 関西日本香港協会 (設立1990) 会員
- ④ 毎年香港訪問

### 2. 香港の概要

|        |   |
|--------|---|
| 国名     | 中華人民共和国香港特別行政区                                      |
| 面積     | 1,110 平方キロメートル (東京都の約半分)                            |
| 人口     | 726 万人 (2014)                                       |
| 公用語    | 英語、広東語、北京語  |
| 民族     | 漢族 (94%)  |
| 宗教     | 仏教・道教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教                             |
| 行政長官   | (香港政府TOP) 林鄭月娥                                      |
| 通貨     | 香港ドル (約15円)   |
| GDP    | 320 (10億 US ドル) (2016)<br>1人当たり43,527 (USドル) (2016) |
| 経済成長率  | 2.5% (2014)   |
| CPI    | 4.4%  |
| 外貨準備   | 358 (10億 US ドル) (2015)                              |
| 時差     | 1時間 (日本9:00 香港 8:00)                                |
| 年間来訪者数 | 59百万人 (2015)  |
| 所得税率   | 法人16.5% 個人2%～17%                                    |
| 気候     | 亜熱帯 高温多湿 (非常に蒸し暑い)                                  |
| 港湾     | 天然の良港   |

### 3. 歴史

#### 先史時代

新石器時代から青銅器時代に掛けて土着民（漢族ではない）が居住。青銅器など出土。

#### 近代

1842年の南京条約（アヘン戦争）により「香港島」が割譲され英国の植民地となる。その後植民地香港の領域は、「香港島」「九龍」「新界」の3地区に拡大。

面積： 「香港島」 81平方キロメートル  
「九龍」 47平方キロメートル  
「新界」 978平方キロメートル

1860年の北京条約（第二次アヘン戦争）により「九龍」（九龍半島の先端部）割譲

1898年「新界」を清朝より99年間「租借」、その租借期間満了は1997年であった。

1941年12月日本軍による香港占領。

1945年までの3年8ヶ月間日本占領が続いた。軍票政策により香港ドルの使用が禁止され、香港市民は資産の減少を余儀なくされた。

#### 現代

1949年 中華人民共和国の成立。  
周恩来首相は英国に香港統治を続けさせ、香港を活用。戦後大陸と香港の相互往来は厳しく制限されたが、香港への難民流入は続いた。この難民の労働力を利用し、大陸からきた資本家が経済を発展させた。

1982年 北京でサッチャー首相と最高指導者鄧小平が会談、英国は香港統治の継続を断念した。

1984年 中英共同声明が正式調印され、英国は1997年7月1日に香港を中国に返還することと「一国二制度」を実施することが決まり、香港返還問題は決着した。

#### 4. 政治・経済

1990年4月4日 香港基本法（香港の憲法）が公布され  
1997年7月1日香港返還とともに施行された。

「一国二制度」が法制化され、香港特別行政区の諸制度を規定。  
「港人治港」（香港人による香港統治）  
「高度の自治」「現状維持」（香港の現行の社会・経済制度変わらず）  
「五十年不変」「外交と防衛は北京の中央政府の権限」

2014年行政長官普通選挙の民主化を求めて学生・市民が大規模のデモを展開。警察の催涙弾に雨傘で耐えた（雨傘運動、雨傘革命）。

「報道の自由」が縮小、返還後メディアに対し中央政府の政治的圧力が強まり問題化。

「貿易・国際金融センター」として発展。自由放任主義（レッセ・フェール）により政府の介入を最低限に抑える。

免許銀行159行のうち152行が香港外に本拠地を持つ。  
世界の金融機関が集積し国際的な銀行業務を展開。

機関投資家も1074社香港に拠点を置き海外投資家の資産を運用。  
香港証券取引所の時価総額（2015）はアジア第3位、世界第6位  
1位ニューヨーク 2位ナスダック 3位東京 4位上海  
5位ユーロネクスト

発券銀行が3行（香港上海銀行、スタンダードチャーター銀行、中国銀行）米ドルを信用の裏付けとして紙幣を発行—カレンシーボード制）  
香港ドルの安定性を維持。1米ドル=7.8香港ドル（ペッグ制）

低税率政策を採用しているが財政収支は黒字を維持。その理由は、

- ① 財政支出上限設定（小さな政府） GDPの20%
- ② 社会保障費抑制
- ③ 国防費負担ない
- ④ 公益事業は民間企業が代替
- ⑤ 政庁の土地関連収入が大きい

## 5. 経済・社会

- ①観光産業も香港の主要産業の一つ。年間来訪者数は59.3百万人(2015)  
内中国本土からの来訪者数は45.8百万人(2015)
- ②自由貿易港として海上貨物(コンテナ)取扱量は世界4位、航空貨物取扱量は世界1位。100の航空会社が就航し180の国際空港へ直行便(2014)
- ③国際公認会計士事務所、国際弁護士事務所、コンサルタント会社も多数拠点を香港に構え、プロフェッショナルサービスを提供。
- ④低税率政策  
直接税は所得税のみ。消費税なし、相続税なし、配当収入・預金利息に対する課税なし、キャピタルゲイン税なし、ワインに対する課税もなし。
- ⑥ 比較的富裕層多い。年収10万USドル超の人口200万人  
反面、貧富の差が大きい。
- ⑦ 男女ともに長寿。男81.17歳(世界1位)、女86.75歳(世界2位)  
(2014)
- ⑧ 「食は広州にあり」 グルメと紹興酒とお茶
- ⑨ 公共交通が便利 MTR ((Mass Transit Railway)
- ⑩ 香港人による好感度(香港大学調査)  
1位日本60% 2位シンガポール58% 3位台湾48%  
(大災害時における日本人の秩序、理性、団結を評価)
- ⑪ 香港人の日本旅行ブーム  
旅行者1,524千人を記録(2015) 全人口の5人に1人の比率  
LCCの就航と円安が追い風。リピーター多い。
- ⑫ 2015年「一带一路」構想  
シルクロード経済圏、国家を超えた広域ネットワーク経済圏の構築  
65の国と地域が参加、世界人口の63%、世界のGDPの30%、  
世界貿易の35%

## 参考資料

- |                    |        |          |      |
|--------------------|--------|----------|------|
| 「香港」中国と向き合う自由都市    | 倉田 徹   | 岩波新書     | 2015 |
| 中国返還後の香港           | 倉田 徹   | 名古屋大学出版会 | 2007 |
| アヘンと香港             | 古泉 達矢  | 東京大学出版会  | 2016 |
| 香港を知るための60章        | 吉川雅之   | 明石書店     | 2016 |
| 地球の歩き方 香港          | 同編集室   | ダイヤモンド社  | 2016 |
| 香港春節セミナー           |        | 関西日本香港協会 | 2016 |
| 香港・中国ビジネスセミナー      |        | 関西日本香港協会 | 2016 |
| 香港と華人経済圏           | 野村総研香港 | 日本能率協会   | 1992 |
| 香港と中国              | 野村総研香港 | 日本能率協会   | 1994 |
| 世界の都市物語 「香港」       | 陳 舜臣   | 文藝春秋     | 1997 |
| 沈みゆく香港             | 中嶋嶺雄   | 日本経済新聞社  | 1997 |
| 香港返還交渉             | 中園和仁   | 国際書院     | 1998 |
| 香港日本人社会の歴史         |        | 香港日本人倶楽部 | 2005 |
| 香港 返還から10年 「新移民」   |        | 京都新聞     | 2007 |
| 香港返還10年 「手探りの繁栄」   |        | 日本経済新聞   | 2007 |
| 返還20周年 新行政長官の最初の任務 |        | 香港ポスト    | 2017 |
| 「香港」公式ガイド          |        | 香港政府観光局  | 2017 |

蔵前-関西午餐会メモ（レジメ資料の補足）

第 706 回午餐会 平成 29 年 9 月 6 日（火） 12 時～14 時 出席 27 名 大阪中央電気倶楽部 317 会議室にて講演

演題： 「香港を知る」 講師： 安西 正嗣 氏（S42 一橋大商学部卒 元 三菱銀行）

【まとめ】

20 年前の返還から、政治・社会的には大きな変化が続いているが「一国二制度」「港人治港」…等の特別諸制度で、香港経済の活発活動は継続している。独特の社会（居住）環境とあいまって、観光ブームも続いており金融経済を中心にこのままの発展が続くと考える。

（そのことを理解・踏まえて、より多数の方に香港を訪問してほしい）

【講演資料の補足】

講演引き受けの動機

日々、新聞・雑誌記事・その抜き刷り多数を回覧愛読中

TIT 上田 LA センタ長から 『アクティブラーニング』の大切さを学んだ

その後、池田午餐会会長から、午餐会講演依頼うけ、『香港』テーマで受けること決定

---

概要

- ・ 自己紹介
- ・ 香港の概要
- ・ 歴史・背景
- ・ 政治・経済
- ・ 社会・生活全般

要旨・補足：

① 自己紹介

S15(1940) 東京都大森区馬込にて生まれた。桐朋学園中・高(国立市)出身、

一橋大学経済 卒⇒三菱銀行に入学

勤務先 ⇒ 梅田 …… 東京から 30 代に Houston Texas (全米第 4 都市) へ赴任

40 代になって Singapore 勤務後 香港へ赴任して リース業務(+証券業務)の J V 初代社長を経験  
⇒ 1990-1998 勤務(異例の長期赴任)

香港政庁から 『永久居民証※』=居住条件なしの特別資格付与 を取得

※ 許可条件 ・ 7 年(+α)間の継続居住 ・ 犯罪歴なし ・ 納税実績 ・ 国家(政府)貢献の実績 など

特に 1997 年 7 月 1 日 の英国(エリザベツ)租借 ⇒ 中国(五星紅旗)返還式に立ち会った(生き証人として)

返還式の列席者 英国側： チャールズ皇太子・ブレア首相・ ? 外相・パッテン総督

中国側： 江沢民主席・李鵬首相・銭棋進外相・董建華行政長官

2017/6 (返還 20 年目) 訪問時に 香港大学訪問

(1887 創立、10 学部 教員 6 千人・学生 2 万人卒業生に孫文(初代)～キャリーラム総督)

② 香港の概要

③ 歴史・背景

地理的な補足 … 大半が 香港島・九龍地区に居住

(6600 人/平方キロ = 3 番目 マカオ・Singapore に次ぐ人口密度である)

・ 最大面積=ランタオ島(新空港あり) ・ 中心地域=香港島 その他で 総計 236 島

cf : 6800 島/日本 密度=335 人/平方キロ

言語： 基本は中国語 だが 実は サマザマ区分あり(お互い通じないことが多い)

④ 政治・経済

⑤ 社会・生活全般

・ 以上